



# あさひ台

学 校 報  
第 5 3 1 号  
R 6 . 1 2 . 2 0  
五 城 目 小 学 校

## 学校教育目標

夢高く 心たくましく 学び合う五小の子  
～ つなぐ ひらく つくる ～

## 48 組、約 280 名

この数字が表しているもの、それは今年4月4日から12月16日の間に五城目小学校の視察に訪れた人の数です。この9か月間、毎月何組かの視察を受け入れており、多い月で10組の方が訪れました。視察に来た方、主な目的は次のとおりです。

### <視察に来た方>

- ❖行政・議会関係（文科省、経産省、地方自治体、教育委員会、議員等）…15組
- ❖教育関係（大学、私的教育機関、大学生、高校生、中学生等）…10組
- ❖企業関係（広告代理店、流通、メーカー、不動産等）…7組
- ❖地域団体（町内会等）…3組 など

中には、個人的に興味をもって訪れる方もおりました。遠くは沖縄県や鹿児島県から、また研修旅行として中国から来た高校生・中学生もおりました。

### <視察の目的>

- ❖建築に当たり、どのようにして住民の合意形成を図ったのか。（スクールトーク）
- ❖住民の願いが校舎にどのように反映されているか。
- ❖運動公園内に建てたことによるメリットは。
- ❖教育留学制度の意義は何か。
- ❖「みんなの学校」とはどのような事業か。
- ❖地域との連携をどのように進めているか。

視察に来る方の目的は様々ですが、以上のような本校の特徴に興味をもっているようです。



みんなの学校「防災マップづくり」

2月28日に発売された雑誌「pen」で紹介されたことも、注目を集めている理由の一つだと思われませんが、それ以前から五城目町や五城目小学校は一部関係者の間で話題になっていました。今年1月には、文部科学省国立教育政策研究所主催の「文教施設研究講演会」で、8月には文部科学省主催「学校魅力化フォーラム」で、町教育委員会生涯学習課の猿田和孝さんが講演・発表を行っています。また、9月に公表された「ウェルビーイング向上のための学校施設づくりのアイデア集」（国立教育政策研究所）においても、地域住民との対話で作られた学校として本校が紹介されています。

たくさんの方々に来ていただいたことにより、五城目小学校が全国的に注目を集めている特徴的な学校であることを再認識することができました。

雑誌「pen」は、学校の昇降口に置いています。いつでもご覧ください。

（校長 島崎徳之）